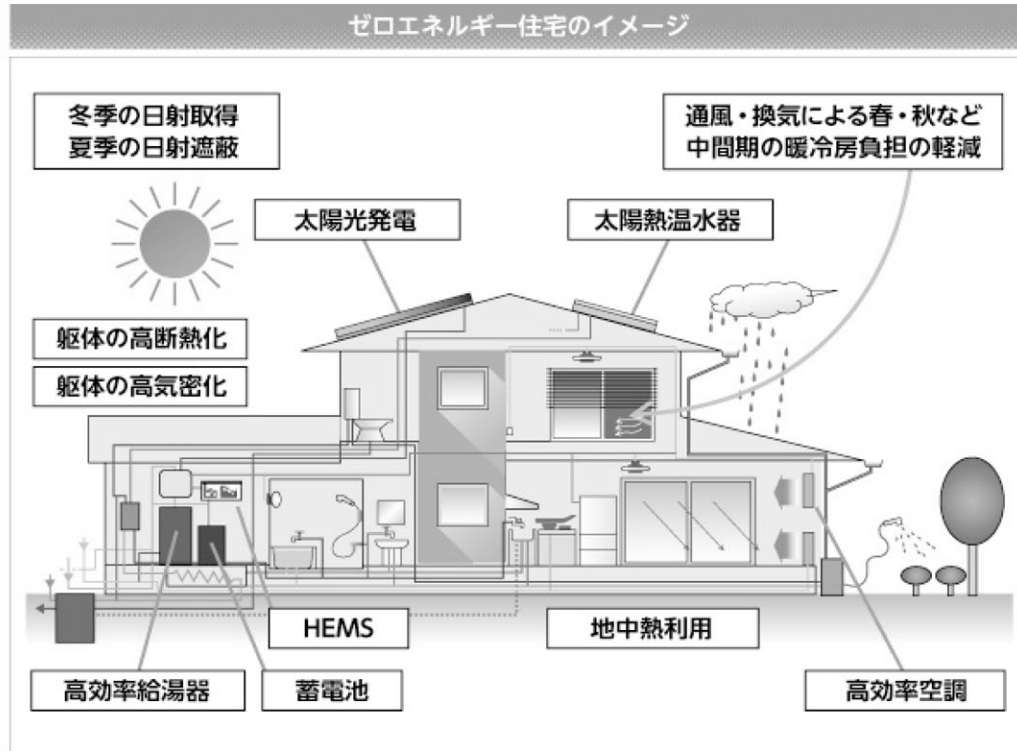


## 2013年これから住宅どうなるの？

地球温暖化対策としての二酸化炭素削減や東北地方太平洋地震によるエネルギー不足の問題など、省エネルギーが社会の義務となりつつある今日、一人ひとりが意識を高くもって、省エネに取り組まれている事と思います。

住宅業界も転換期を迎え、ゼロエネルギー住宅・スマートハウス・低炭素住宅、言い方は違いますが、自分達で使うエネルギーは、自分達で創る。使うエネルギーと創るエネルギーが概ねゼロ又はプラスαを目指しています。



その為には、住宅高断熱化・高气密化・太陽光発電・風力発電・太陽熱温水器・地中熱利用・高効率給湯器・高効率空調機の導入、日当たりや通風など自然の力を上手に取り入れたパッシブ住宅・雨水の利用、エネルギーロス を最小限にする為ガスエンジンを回しての発電や排熱を利用してお湯を沸かすなどのコージェネレーションシステム（エネファーム・エコウィル）などが必要となります。

また、エネルギーの無駄を管理する為のHEMSの設置に留まらず、家の家電は、スマートホンで管理できる時代が目前に迫っています。

余剰に創ったエネルギーは売電又は、蓄電できる燃料電池や電気自動など、ゼロエネルギー住宅の技術製品は出揃い、後は建築主が、価格・立地条件・家の形状・気候、生活スタイルなどを考慮した上で、エコ商品をチョイスするだけです。

これからの住宅は車に安全性・燃費性能が問われるように、省エネルギー性能を始めとした様々な性能を求められる時代に入っています。

## 『ゼロ・エネルギー住宅』 165万円補助金申請をしました！

平成24年度経済産業省資源エネルギー庁 『住宅のゼロ・エネルギー化推進事業』の補助金165万円の申請をしました。

今回の補助金は、中小工務店に対して行う補助制度です。

補助対象、住宅の躯体・設備の省エネ性能の向上、再生可能エネルギーの活用等により、年間での一次エネルギー消費量がネットで概ねゼロになる新築及び既築の住宅が対象になります。

ゼロ・エネの仕様

組み合わせ

- 外張り高断熱・高气密
- 複層ガラス
- HEMS
- 太陽光発電4.1kW
- 高効率エアコン（冬場は薪ストーブ併用）
- エコキュート給湯器
- LED照明
- 省エネ対応の設備機器
- 吹き抜け・開口部設置で、通風も確保

以上の組み合わせで、

エネルギー削減率110.4%の結果になりました。

## 薪ストーブで二酸化炭素とゴミを、削減中！

ショールームに、薪ストーブを設置。新築・リフォーム現場から破材としてでる無垢の木材を利用しています。そのまま捨てると、産業廃棄物ですが、薪ストーブに入ると、立派な燃料になります。

元々、乾燥している材料ですから良く燃え、乾燥する手間も不要です。ストーブの最高温度は400℃に達します。

今までは、エアコン2台がフル活動していたましたが、薪ストーブで、光熱費も月2万円位（予定）削減できます。

ビックリするくらい小さいけれど、とにかく暖かい！上に乗せてる”やかん”が、レトロでしょう？ ストーブが放つ遠赤外線が体の芯まで暖めてくれます。小さなストーブですが、ご興味のある方は是非！暖まりに来て下さい。小さな煙突が目印です。

いつでもOKですよ。

